

図書館だより

～ 今月のおすすめ本 ～

森ではたく！ 27人の27の仕事

古川大輔、山崎亮

森を写す人、森で染める人、森を伝える人など、各地の森で働く27人が、27の仕事について等身大の想いをつづります。働く場としてのリアルな森、また、そこで働く人々のひたむきさが伝わる1冊です。 (東)



細川ガラシャ

キリシタン史料から見た生涯

安廷苑

舞鶴にゆかりの深い人物、細川ガラシャの評伝が出版されました。幽斎の息子・忠興との「結婚」と、やがて迎える壮絶な「死」に着目し、イエズス会史料等に遺されたガラシャに関する記録からその生涯を追っています。 (西)



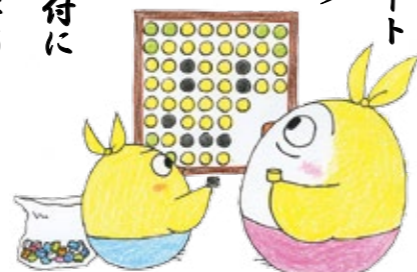
▶詳しくは、東図書館 (☎ 62・0190) 西図書館 (☎ 75・5406) へ。



ごみブクロウの (方法) 『エコな生活ホーホー』教えます!

ごみブクロウ流 「エコキャップ活用術」

エコキャップ
あつめて
作ったら
アート
ワクチン
寄付に
役立てよう



まいづる環境市民会議では、海フェスタ京都の会場でエコキャップ(ペットボトルのフタ)を使ったアートを作製するよ。みんな見に来てね!

イベントが終わったら、集めたキャップは世界の子どもたちへのワクチン提供活動を行っている団体へ寄付する予定だよ。

《生活環境課》

防災ひとくちメモ

“積乱雲”ってどんな雲?

～ 天気が急変して突然の雷雨になる原因 ～

天気が急変して突然の雷雨になる原因は“積乱雲”という雲です。発達した“積乱雲”は、時に「急な大雨」「雷」「ひょう」「竜巻」などを引き起こします。

“積乱雲”は、強い上昇気流によって水平面に対して垂直方向に発達した雲で、大気の状態が不安定な気象条件で発生しやすくなります。

“積乱雲”の特徴

- ◆カリフラワーやキノコの傘のような形をしている
- ◆“入道雲”とも言われる

“積乱雲”接近のサイン

- ◆真っ黒な雲が近づいてきた
- ◆雷の音が聞こえてきた
- ◆急に冷たい風が吹いてきた



上記のような変化を感じたら、“積乱雲”が接近しているサインです。まもなく激しい雨と雷がやってきます。竜巻が起きる恐れもありますので、速やかに屋内などの安全な場所に避難しましょう。

(気象庁ホームページより)

▶詳しくは、危機管理・防災課 (☎ 66・1089) へ。

ドクターTのひとりごと その25「オーラについて」

「オーラとは、人体から発散される霊的なエネルギーのこと。転じて、ある人物や物体が発する、一種の独特な霊的な雰囲気(オーラ)を指す」とWikipedia(インターネット百科事典)に記載されています。

昨年、私はロンドンオリンピックで金メダルを取った方と対談した際に、お会いした瞬間にオーラを感じました。その方は若干32歳の女性ですが、これほど若い方で強いオーラを感じたのは初めてでした。対談後に、彼女のオリンピックで金メダルを取るための並々ならぬ努力と信念を知り、大変感動しました。

オーラの感じ方は人によって異なると思いますが、なぜ、人はオーラを感じるのでしょうか? 私は、高い能力と圧倒的な行動力で目標を達成した人の態度や素振りには、高度の尊崇の念を抱かせる独特の雰囲気があり、自然にオーラを感じるのだと思っています。

また、オーラは、向上心を持ち、常に前向きに努力する人の方が感じやすいのではないとも思っています。前向きに考える人は努力の大切さや課題解決の難しさも気づいているからです。

「オーラ」とまではいかなくとも、「人の頑張り」に気づくには、まずは自己研鑽が必要だと思っています。

「引き揚げ」の記憶を次世代へ

引揚記念館に展示・保管している海外からの引き揚げやシベリア抑留などに関する約1万2千点の資料の中から、今回は「手袋」を紹介します。

「寒いときに手を手袋から出してそのままにしていると、30秒も経たないうちに口ウソクのような色に変わって硬直する。手の色が変わり始めたとき、あわてて手袋をして痛いのを我慢してもみほぐした」これは、抑留者の手記の一文です。極寒の中で、手袋をしない状況がどれだけ危険なことであったかが分かります。

また、別の抑留者は、極寒の中、つるはしを強く握りしめていたために手袋に穴があき、それをそのままにしておいた結果、凍傷になって切断寸前までいったそうです。それからは、再び凍傷になることがないように、捨った布きれで穴をふさぐ修理をしたことが手記に書かれています。

抑留者の中には、凍傷になり十分な治療が受けられずに亡くなる方も多くおられました。極寒のシベリアでは、小さな油断が命の危険をもたらすことがあったのです。

シベリアへ連行された人々が使っていた手袋は、親指とそれ以外の指が二手にわかれるミト



▲手袋

ンタイプのもものがほとんどでした。現在よく見られる5本の指それぞれを入れるタイプのもは、特に小指の体温が奪われやすく凍傷になりやすいことから、ミトンタイプのもので指先の保温効果を高めていたと思われます。さらに、当館に展示されている手袋の特徴として、小さなものをつまむときにも脱がずに済むように、人差し指を出すための突起がつけられています。

マイナス30℃を下回る中での作業で、薄いミトンの手袋だけでは極限の寒さをしのぐのに決して十分なものであったとは言えません。しかし、凍傷を防ぎ命を守るために必要不可欠であり、祖国の土を踏むまでの希望と命をつないだものであったことに変わりはありません。

▶詳しくは、引揚記念館 (☎ 68・0836) へ。

広げよう人権の輪 ～ 家を楽しみ、職を楽しむ ～

A子さんは、結婚後もずっと仕事を続けていましたが、妊娠したことで仕事を辞めるべきかどうか悩み、今後のことについて夫婦で話し合いました。仕事と育児を両立することに自信が持てなかったA子さんですが、「これまで頑張ってきたんだから、おれも協力するし仕事を続けなよ」という夫の言葉に、仕事を続けることに決めました。

その後、出産し育児休業を終えて職場復帰したA子さんは、夫と2人で家事や子育てを分担し、仕事と家庭の両立を図りながら、仕事も子育ても精一杯頑張っています。A子さんは「こうして頑張れるのは、夫が理解してくれていることや、女性が働きやすい職場環境を会社が整えてくれているから。本当に感謝しているの」と話しています。

皆さんは、「男女共同参画」という言葉を聞いたことはありますか。それは単に「女性がバリバリ働き、社会で活躍すること」や「女性の地位向上を図ること」というだけではありません。男女が、互いにその人の人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別に関係なく、それぞれの個性や能力を社会のあらゆる場所で十分に発揮できるということなのです。

男女が同じように力を発揮し自分らしく輝ける社

会を実現するためには、私たちみんなが「男はこう、女はこう」という固定観念にとらわれず、A子さんたちのように、家庭での家事、育児、介護、職場での仕事のあり方などについて見直していく必要があるのではないのでしょうか。

本市では、7月から「舞鶴市男女共同参画推進条例」を施行します。この条例は、男女共同参画社会の実現に向けての基本的な考え方とともに、市がすべきことや、事業者や教育関係者、市民の皆さんが努めていただくことを明らかにしています。これを機に皆さんも男女共同参画について考えてみませんか。

《人権啓発推進室》

女の子でしょ! もう少しおとなしくできないの...

男なんだから仕事を優先させなくちゃ! 家事や子育ては嫁に全部任せときゃいいんだよ

女なんだからそこまで頑張ってもいいんじゃない



男のくせに! もっとしっかりしてよ!